Q 道の駅の民間活力の可能性調査をされたようだが、五料の直売所管理業者に聞くと農産物の直売所の運営は大変厳しいと聞く。今後の見通しは。

A 運営する側の視点として意見を取りまとめた。農産物などの直売所などについては今後募集する管理運営会社がどのような運営をするか決まったうえで協議をしていく。

【8款　土木費】

Q 住宅省エネ改修補助金の決算額が1,159万9千円である。補助制度の概要は。

A 住宅を改修する工事等で、省エネ化に資するものとして、外壁・屋根・窓等の断熱改修や省エネルギーに効率的な設備機器の設置が対象。市内業者に発注することが補助要件で費用の10分の2、上限10万円。令和7年度から補助金の受取方法としてUMECAを選択された方は、10%上乗せして交付。

【9款　消防費】

Q 当初予算に計上されていなかったが、消防大学校負担金50,500円の概要は。

A 消防大学校については、例年12月頃に入校依頼があり、今回は消防団長が受講したもの。受講した消防団長科は、消防団上級幹部に必要な知識・能力の習得を目的とする。団長本人の希望を受け手続きを行い令和7年7月28日から8月1日にかけて受講した。予算は節全体の範囲内で執行した。



消防大学校パンフレット

【10款　教育費】

Q 文科省から令和7年に学校の補助教材、学用品などにかかる保護者の費用負担をできるだけ軽くするようにと通達が出されているが小中学校での対応についてはどうなっているか。

A 現在、本市においては、個人が購入している教材を学校備品として整備していないが、その対策の重要性については認識しており、今後、各学校とも協議をし、検討していく。

一般会計歳入質問

【歳入】

Q 令和7年度の経常収支比率は。

A 令和7年度は98.0%であり、前年の99.3%より改善した。要因は、税収が伸び、経常的収入が増加したことだが、税収増は市民税法人割の影響が大きく、これは安定的な税目とは言えない。今後は、業務の見直しや効率化を進め、公共施設や事業の見直し等、コスト削減に努める。

事業会計質問

【水道事業会計】

Q 令和7年度の収支が約631万円の純損失を計上した主な要因は。

A 収入面では、料金収入の対象となる有収水量が前年度に比べ2.46%減少したこと。費用面では、昨年夏の猛暑およびその後の少雨により、浄水処理に用いる薬品の使用量が増加したこと、資器材価格、人件費の上昇といった水道事業を取り巻く経営環境が変化していることが挙げられる。